

令和4年1月28日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 坪井 七夫
経営サポートセンター
リサーチグループリーダー 松本 庄平
担当 高橋 (電話) 03-3438-9932
(FAX) 03-3438-0371

2020年度（令和2年度） 病院の経営状況に関するリサーチレポートについて

独立行政法人福祉医療機構では、福祉医療貸付事業の債権管理の一環として、毎年度、融資先からご提出いただく財務諸表等を基に、社会福祉法人や医療法人、福祉・医療施設等の経営状況について集計・分析しています。

このたび、2020年度（令和2年度）の病院の経営状況について、リサーチレポートをとりまとめました。

〈リサーチレポート〉 <https://www.wam.go.jp/hp/keiei-report-r3/>

リサーチレポートの概要

- 一般病院の医業収益対医業利益率は、前年度から2.2ポイント低下し△1.1%であった。
- 療養型病院の医業収益対医業利益率は、前年度から3.7ポイント低下し2.1%であった。
- 精神科病院の医業収益対医業利益率は、前年度から1.3ポイント低下し0.4%であった。
- いずれの病院類型でも、コロナ患者や回復患者の受入れ、その他コロナ対応に伴って設けられている診療報酬上の特例措置のほか、2020年度の診療報酬プラス改定も含めた影響により、患者1人1日当たり入院医療収益は上昇したが、病床利用率の低下と人件費の増加などにより費用が収入の増加を上回っていた。
- 赤字病院※割合は、すべての病院類型において拡大し、ここ数年でもっとも高い水準となった。一般病院では前年度から1.8ポイント拡大し43.1%、療養型病院は13.9ポイント拡大し34.7%、精神科病院は2.7ポイント拡大し29.6%であった。

※経常利益が0円以上の病院を黒字病院、0円未満の病院を赤字病院と定義

以上